

平成 20 年 6 月 30 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、観光関連が順調なもの、生産活動が一進一退で、個人消費は盛り上がりを欠くなど、全体では停滞感を強めている。

生産活動は、電子部品関連や食料品関連の一部で伸び悩んでいる。個人消費関連は、乗用車新車販売が再び前年を下回り、百貨店売上げやスーパー売上げも盛り上がりを欠く。投資関連では、公共工事及び民間建築工事、住宅着工ともに低調。その間、観光入り込み客数は篤姫効果もあらわれ、前年を上回った。

【生産活動】 ... 一進一退

電子部品関連は、IC 生産が堅調に推移している。一方、PDP（プラズマ・ディスプレイ・パネル）やカラーLCD（液晶ディスプレイ）は競争激化により伸び悩んでいる。

5月の**生コン**生産は、公共工事向け、民間工事向けともに前年を下回った。

5月の**紙パルプ**生産は、前年比 14.3% 増となった。

木材関係は、住宅建設向け需要が弱いことから、製材品が生産、出荷ともに低調に推移している。

5月の**大島紬**生産は、前年比 25.8% 減となり、減反基調に変化は窺えない。

焼酎は、生産および出荷が伸び悩んでいるものの、引続き高水準で推移している。

かつお節生産は、原料かつおの水揚げが引続き好調なことから、増加基調にある。

【畜産関連】 ... 堅調

肉用牛（和牛）の枝肉相場は需要の伸び悩みから前年を下回り、子牛価格も前年を下回っている。豚肉及びブロイラー相場は、需要増から堅調に推移している。また、鶏卵相場は弱含みながら前年を上回る水準で推移している。

【消費関連】 ... 盛り上がりを欠く

4月の百貨店売上げは、衣料品販売が引続き低調であったため、前年比5.5%減と8か月連続で前年を下回った。また、4月のスーパー売上げは、0.9%減と前年並みにとどまった。

5月の乗用車新車販売台数は、1.1%減と再び前年を下回った。車種別にみると、普通車は10.6%増と前年を上回るも、小型車が7.2%減と前年を下回った。一方、軽自動車は2.9%減と8か月連続で前年割れとなるも、下落幅は縮小している。

【観光関連】 ... 順調

5月の離島を除く主要ホテル・旅館の宿泊客数は、前年比7.1%増と前年を上回った。前年が伸び悩んだ影響もあるが、地区別にみても、全地区で前年を上回っている。また、種子島・屋久島地区も、前年が低迷した反動もあるが、前年を上回る展開となった。この間の主要観光施設入場者数も、ほぼ前年を上回り堅調に推移した。

【投資関連】 ... 総じて低調

5月の公共工事は、件数が前年を上回ったものの、請負金額が前年を下回った。

4月の民間建築工事は、棟数、床面積、工事費予定額の全てにおいて前年を下回った。

4月の新設住宅着工戸数は、前年比40.2%減となった。利用関係別では、持家、貸家、分譲が25.5%、40.5%、46.8%の各減となった。

5月の主要建設資材卸売業者の売上げは、10か月ぶりに前年を上回った。

【貿易関連】 ... 輸出が前年割れ

4月の輸出額は、液晶表示板等の科学光学機器が前年を上回ったものの、半導体等電子部品が前年を下回ったことから、全体では21.0%減と3か月連続で前年を下回った。輸入は原油及び粗油や穀物及び同調整品が前年を上回ったことから、全体では100.4%増と7か月連続で前年を上回った。

【雇用情勢】 ... 足踏み

4月の有効求人倍率は、前月を0.02ポイント上回る0.58倍となるも、雇用情勢は足踏みしている。

【金融情勢】 ... 堅調

資金需要は、企業の設備資金、運転資金ともに堅調に推移している。

【企業倒産】 ... 負債額が前年を下回る

5月の企業倒産は、件数が14件と前年同月（15件）を下回ったものの、負債額が大型倒産の発生により114億7,400万円と前年同月（19億6,000万円）を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

（株）鹿児島地域経済研究所（ 099-225-7491 ）